

す て つ び しゅ さい
STEP えどがわ主催

じょう え い か い
バリアフリー上映会
& トークショー

さんかむりょう
参加無料



トークショー日時：11月19日（土）13:30～15:30 情報保障（手話&文字通訳）あり

※映画は11月11日～19日の間、オンライン配信サービスVIMEOを使って各自でご視聴いただけます。

トークショーのZOOMアドレスと映画の視聴URLは、参加申し込み後に後日メールでお送りします。

参加の申し込み：



左のQRコードを読み取っていただき、申込フォームに必要事項を入力して送信ボタンを押してください。自動確認メールが届いたら申込完了です。

フォームからの申し込みが難しい方は、電話、FAX、メールでもお申し込みいただけます。連絡先はチラシの裏面をご確認ください。

※先着100名。人数に達し次第、受付終了となりますので予めご了承ください。



トークショーゲスト：鷺原由佳さん（DPI日本会議 事務局員）

1982年北海道生まれ、千葉県育ち。中学校でいじめなどの強烈な生きづらさに直面し、不登校を経験。大学3年生の時に統合失調症になり、精神科に3回入院。現在はDPI日本会議で障害当事者として働いている。

うらめん かくにん
▽▽▽ 裏面もご確認ください ▽▽▽



企画意図

精神障害は、精神症状の出現とともに、精神の機能が低下して社会生活上の様々な場面に困難が現れる障害。中でも統合失調症は急性期を過ぎても再発を繰り返すことから不治の病とされ、精神病院への長期入院を余儀なくされてきた。しかし近年、保健福祉分野からの地域生活移行・定着への支援の重要性が認識されている。

映画の舞台になっている藍工房（就労継続支援事業所・B型）では、多くの精神障害者たちが、藍染製品や組紐など日本の伝統文化に根差した製品づくりと、全国でも珍しいフレンチレストランの「業務」に頑張っている。さらに、彼らの日常を豊かにする絵画や陶芸といった文化的な創造の香りも…精神障害に対する社会の偏見・差別は、今日もなお根強いものがあるが、その一因は障害に対する無知、無理解からくるものと思われる。この作品は、日々の生活に生き難さを感じている精神障害者のありのままの日常を通して、彼らの苦しみや長いトンネルを抜けた先にある「希望」を見出していく姿を知ってもらうことで、彼らが安心して暮らせる社会の実現と、精神障害に対する人々の理解を深めることを願って製作された。

（映画「あい」～精神障害と向き合って～公式サイトより）

視聴方法

①主催者（STEPえどがわ）から送られてくるリンク先 URL をクリックします。
（またはコピーしてブラウザにペーストしてください）

視聴期間が終了すると使用することができなくなります。

②パスワードを入力、またはコピー＆ペーストし【送信】を押します。

映画の画面が開き自動でスタートします。自動でスタートしない場合は再生▶を押してスタートしてください。

VIMEO 公式サイト <https://vimeo.com/jp/>

VIMEO ヘルプセンター <https://vimeo.zendesk.com/hc/ja>

※VIMEO の操作に関しては上記ヘルプセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先(主催)

自立生活センターSTEPえどがわ 担当：中曽根・利根川

133-0065 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7

電話：03-3676-7422 FAX：03-3676-7425 メール：event@step-edogawa.com

営業時間：土日祝を除く9：00-17：00